

## 第3章 計画の基本理念・基本目標

### 1 計画の基本理念

本市では、前回計画において、基本理念を「住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるまち かりや～支え合いみんなで創る持続可能な共生社会～」として掲げ、住み慣れた地域で自分らしく高齢期を過ごすことができるよう、住まい・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築に取り組んできました。

今後、令和7年（2025年）には団塊の世代が75歳以上となり、人口は減少に転じる見込みであるものの、その後も高齢者人口は継続して上昇することが見込まれており、介護サービス需要のさらなる増加、多様化することが想定されるため、中長期的な視点に立ち、地域の高齢者介護を支える人的基盤やサービス基盤を計画的に確保していく必要があります。

本計画では、これまでの基本理念を踏襲しつつ、中長期的な見通しのもとで介護保険サービスの需要増加や高齢者の多様なニーズに対応するための体制整備を進め、これまで以上に誰もが安心して住み慣れた地域で継続して暮らすことができるよう、次のとおり基本理念を掲げ、総合的な施策の推進に取り組みます。



## 住み慣れた地域でいつまでも ～支え合いみんなで創るカリフルライフ～

- 「カリフルライフ」は「kariya（刈谷）」と「full life（充実した生活）」を合わせたもので、刈谷での充実した生活を表現しています。また「カリフル」は「カラフル」という言葉も連想できることから、多様性の意味合いも含み、自分らしく暮らせるまちとなることも表現しています。

## 2 計画の基本目標

### 基本目標1 介護予防の推進 【アクティブライフ(Active Life)】

高齢者が可能な限り自立し、活力に満ちた生活を送ることができるよう、健康づくり・介護予防事業や生きがいくりに関する取組を推進します。

### 基本目標2 地域での暮らしを支える体制整備 【サポートライフ(Support Life)】

地域包括支援センターを中心に、様々な主体が連携するとともに地域で支え合えるコミュニティづくりを推進します。また、様々な状況にある高齢者の生活を支える福祉サービスの提供や身近な場所での交流機会の充実を図るとともに、高齢者の移動や住まい等に係る支援を推進します。

### 基本目標3 在宅医療・介護連携の推進 【シームレスライフ(Seamless Life)】

医療ニーズと介護ニーズをあわせ持つ高齢者が安心して在宅生活を送ることができるよう、在宅医療と在宅介護の連携を強化します。また、日常の療養、入退院、急変時、看取りの各場面で適切に対応できる体制の整備に取り組みます。

### 基本目標4 認知症施策の充実 【ホープフルライフ(Hopeful Life)】

認知症の人ができる限り地域で自分らしく暮らし続けることができるようにするとともに、その家族等も安心して生活を送ることができるよう、総合的な認知症施策を推進します。

### 基本目標5 安定的な介護保険制度の運営 【ステーブルライフ(Stable Life)】

介護サービス・介護予防サービスにおける利用者ニーズの把握とそれに合わせたサービスの供給とともに、利用者の状況に応じた適正なサービス利用を促し、安定的な介護保険制度の運営に努めます。また、介護人材の確保や感染症対策等に関する施策を講じることで、サービス事業者への支援体制を強化します。

#### ●基本目標について

基本理念の「カリフルライフ」にちなみ、「ライフ」のついた単語を各目標のキーワードとしています。

active・・・活発な、積極的な、現役の

support・・・支える、支援する

seamless・・・切れ目ない

hopeful・・・希望に満ちた

stable・・・安定した

### 3 施策の体系

基本目標	施策の方向	重点 取組	具体的な取組
1 介護予防の推進 アクティブライフ (Active Life)	(1) 健康づくりの推進		①生活習慣病予防対策
			②認知症予防対策
			③生涯スポーツの場の提供
			④保健事業と一体的に行う介護予防の実施
			⑤在宅等での健康づくり
	(2) 高齢者の社会参加や就労等の促進		①高齢者の就労支援の充実や社会参加の促進
			②生涯学習活動の充実
			③生きがい活動拠点の運営と利用促進
			④老人いこいの場の開設
			⑤いきいきクラブの活動支援
			⑥交流事業の推進
			⑦敬老会事業の実施
	(3) 生活支援・介護予防サービスの充実		①介護予防・生活支援サービス事業の推進
		<b>重点</b>	<b>②介護予防普及啓発事業の推進</b>
		<b>重点</b>	<b>④生活支援サービスの拡充策の立案</b>
2 地域での暮らしを支える体制整備 サポートライフ (Support Life)	(1) 地域包括支援センターの機能充実		①地域包括支援センターの運営
		<b>重点</b>	<b>②地域ケア会議の充実</b>
			③自己評価と市による評価の実施
			④基幹型地域包括支援センターの運営
	(2) 高齢者福祉サービス等の充実		①高齢者の生活支援サービスの推進
			②家族介護者への支援
			③介護を受ける在宅高齢者への経済的負担の軽減
			④生活環境の改善への支援
			⑤安全・安心な生活への支援
	(3) 住民主体の通いの場の充実		①地域介護予防活動支援事業の推進
			②地域サロン活動等補助事業の実施
			③あつまりんの開催と活動支援
	(4) 高齢者に配慮した住まいの充実		①多様な高齢者向け住宅の情報提供
			②市営住宅のバリアフリー化
			③シルバーハウジングの運営
			④養護老人ホームの運営
	(5) 高齢者の移動支援の充実	<b>重点</b>	<b>①公共交通の充実</b>
			②移動環境のバリアフリー整備
	(6) 高齢者の権利擁護の推進		①高齢者の権利擁護事業の実施
			②高齢者虐待の早期発見
			③高齢者虐待発生時の適切な保護・支援

基本目標	施策の方向	重点取組	具体的な取組		
3 在宅医療・介護連携の推進 (Seamless Life)	(1) 医療・介護連携のための基盤整備		①地域の医療・介護資源の把握		
			②在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の立案		
		重点	③切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進		
			④医療・介護関係者の情報共有の支援		
			⑤在宅医療・介護連携に関する相談支援		
	(2) 医療・介護連携のための相互理解の促進	重点	①医療・介護関係者の研修		
			②地域住民への普及啓発		
		③在宅医療・介護連携に関する関係市等との連携			
4 認知症施策の充実 (Hopeful Life)	(1) 認知症の人を支える地域環境づくり		①認知症サポーターの養成・活動支援		
		重点	②チームオレンジの立ち上げと取組		
			③行方不明高齢者等SOSネットワークの活用		
			④はいかい高齢者搜索模擬訓練の実施		
			⑤はいかい高齢者個人賠償責任保険事業の実施		
	(2) 認知症の人や家族への支援体制の強化		①認知症ケアパスの普及		
		重点	②認知症地域支援推進員の活動の推進		
			③認知症初期集中支援チームの充実		
			④認知症家族支援プログラムの実施		
			⑤認知症介護家族交流会の開催		
			⑥認知症個別相談の実施		
			⑦認知症カフェの開催		
		5 安定的な介護保険制度の運営 (Stable Life)	(1) 多様なサービスの提供と利用支援		①居宅サービス
					②地域密着型サービス
	③施設サービス				
	④サービス利用のための情報提供				
(2) サービスを支える基盤の強化			①介護給付適正化事業の推進		
			②サービス事業者振興事業の実施		
			③介護相談員派遣事業の実施		
(3) 介護支援専門員の資質向上			①介護支援専門員への研修・相談等の実施		
			②主任介護支援専門員の資格取得等に対する支援		
			③介護支援専門員支援体制の強化		
(4) 介護人材の確保・育成	重点	①多様な人材の確保・育成の支援			
		②介護職の魅力向上			
		③離職防止・定着促進			
	重点	④ICTやロボットの活用・業務効率化の推進			
(5) 災害や感染症対策等の推進		①感染症の予防と感染拡大防止対策の実施			
		②サービス提供に関する対策の実施			

## 4 重点取組の位置づけ

本市の課題を踏まえ、計画期間において特に注力して課題の解決にあたる取組を基本目標ごとに「重点取組」として位置づけます。

### 基本目標1 介護予防の推進 【アクティブライフ(Active Life)】の重点取組

介護が必要になる主な理由は身体的な衰えであり、要介護状態になることを防ぐため、介護予防は非常に重要な取組となります。しかしながら、高齢者等実態調査においては、意識して介護予防に取り組んでいる高齢者は20.3%とまだ少ない状況にあることから、より幅広い市民に対し、介護予防に取り組む機会を提供するとともに周知・啓発を行います。

また、高齢者等実態調査において、介護が必要となった場合の今後の暮らしとして在宅での生活の継続を希望する声が多くあります。多様化するニーズに対応するために、介護保険サービス以外の生活支援サービスの拡充を図ります。

#### 重点取組

- (3) 生活支援・介護予防サービスの充実
  - ②介護予防普及啓発事業の推進
  - ④生活支援サービスの拡充策の立案

### 基本目標2 地域での暮らしを支える体制整備 【サポートライフ(Support Life)】の重点取組

国の基本指針において、地域包括ケアシステムの深化・推進が掲げられており、より地域に密着したきめ細かい高齢者の支援体制の構築が求められています。医療、介護等の多職種の関係者が連携・協働しながら、個別課題の解決を図るとともに、地域づくり・資源開発につなげるため、地域ケア会議の充実を図ります。

また、高齢者等実態調査において、高齢者の主な移動手段は自分で運転する自動車が最も多くなっており、今後運転できなくなった場合や免許を返納した場合の移動手段に不安を感じる意見が多くあげられています。今後さらに後期高齢者の増加が見込まれ、自動車を運転しない高齢者の増加も想定されることから、公共交通や移動手段の充実を図ります。

#### 重点取組

- (1) 地域包括支援センターの機能充実
  - ②地域ケア会議の充実
- (5) 高齢者の移動支援の充実
  - ①公共交通の充実

### 基本目標3 在宅医療・介護連携の推進【シームレスライフ(Seamless Life)】の重点取組

高齢者等実態調査において、入退院における切れ目のない医療と介護の提供体制について、評価する割合が増加している一方で、望んだ場所で人生の最終を迎えられる医療と介護の連携体制については、評価する割合は2割に届いていません。住み慣れた地域で安心して在宅生活を継続するため、医療・介護関係者のさらなる連携強化を図るとともに、多職種での交流の機会の提供や、医療・介護関係者の研修を行う等、連携を深めるための相互理解を促進します。

#### 重点取組

- (1) 医療・介護連携のための基盤整備
  - ③切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
- (2) 医療・介護連携のための相互理解の促進
  - ①医療・介護関係者の研修

### 基本目標4 認知症施策の充実【ホープフルライフ(Hopeful Life)】の重点取組

令和7年度（2025年度）には5人に1人の高齢者が認知症を患うと想定されるなか、令和5年（2023年）6月に認知症がある人でも尊厳を持って社会の一員として自分らしく生きるための支援や、認知症予防のための施策を定めた「認知症基本法」が成立しました。認知症の人や家族への支援体制を構築していくうえでは、既存の認知症初期集中支援チームのみならず、地域のなかでのサポーター等の支援者の役割も重要です。

認知症と思われる初期の段階からの心理面・生活面の支援として、コーディネーターを配置し、地域において把握した認知症の方の悩みや家族の身近な生活支援ニーズ等と認知症サポーターを中心とした支援者をつなぐ「チームオレンジ」を立ち上げます。また、「チームオレンジ」と合わせ、コーディネーターの役割を担う認知症地域支援推進員の活動を推進します。

#### 重点取組

- (1) 認知症の人を支える地域環境づくり
  - ②チームオレンジの立ち上げと取組
- (2) 認知症の人や家族への支援体制の強化
  - ②認知症地域支援推進員の活動の推進

## **基本目標5 安定的な介護保険制度の運営【ステイブルライフ(Stable Life)】の重点取組**

介護人材の不足については、全国的にも大きな問題となっており、人材確保は重要な課題となっています。高齢者等実態調査における事業所調査において、介護人材の確保の状況について、半数近い事業所で人材が確保できていない状況があり、その理由についても「募集しても応募がない」という意見が多くなっています。介護未経験者も含めた多様な人材の確保・育成を支援していきます。

また、介護現場において、人材の確保のみならず、先進技術を導入し、業務効率化や負担軽減につなげていくことが重要であることから、ICTやロボットの活用を促進します。

### **重点取組**

#### (4) 介護人材の確保・育成

- ①多様な人材の確保・育成の支援
- ④ICTやロボットの活用・業務効率化の推進

## 5 計画の成果目標指標

各基本目標において成果指標を設定し、次期計画の策定開始年度にあたる令和7年度(2025年度)に実施する高齢者等実態調査で評価を行います。

### 基本目標1 介護予防の推進 【アクティブライフ(Active Life)】の成果目標

指標項目	現状値	目標値
	2022年度	2025年度
<b>介護予防に取り組んでいる人の割合</b> 高齢者等実態調査「一般高齢者」対象調査において、将来、健康に過ごし、介護を受けなくてもいいようにするための健康づくりに「意識して取り組んでいる」と回答した割合	20.3%	23.6%
<b>何らかの社会参加活動に参加している人の割合</b> 高齢者等実態調査「一般高齢者」対象調査において、社会参加の9項目のうち、頻度に関わらず、いずれか1つでも参加している高齢者の割合	64.3%	67.0%

### 基本目標2 地域での暮らしを支える体制整備 【サポートライフ(Support Life)】の成果目標

指標項目	現状値	目標値
	2022年度	2025年度
<b>地域包括支援センターを知っている人の割合</b> 高齢者等実態調査「一般高齢者」対象調査において、地域包括支援センターを「言葉も内容も知っている」と回答した割合	27.1%	32.1%

### 基本目標3 在宅医療・介護連携の推進 【シームレスライフ(Seamless Life)】の成果目標

指標項目	現状値	目標値
	2022年度	2025年度
<b>刈谷市において、入退院の際に切れ目なく医療・介護のサービスを受けられていると思う人の割合</b> 高齢者等実態調査「居宅要支援・要介護認定者」対象調査において、入院経験のある人のうち、刈谷市は入退院の際に、入院機能がある病院と在宅生活をサポートするかかりつけ医と介護サービス事業者との間で、必要な連絡を取り合い、切れ目なく継続して医療・介護のサービスを受けられているかの問いに対し「そう思う」と回答した割合	48.9%	53.9%
<b>医療関係者と連携がとれている介護支援専門員の割合</b> 高齢者等実態調査「介護支援専門員」対象調査において、「医師」「歯科医師」「薬剤師」「看護師」「作業療法士」「理学療法士」「言語聴覚士」「栄養士」「歯科衛生士」「その他」と連携がとれていると回答した割合	95.1%	97.0%

### 基本目標4 認知症施策の充実 【ホープフルライフ(Hopeful Life)】の成果目標

指標項目	現状値	目標値
	2022年度	2025年度
<b>認知症に関する相談窓口を知っている人の割合</b> 高齢者等実態調査「一般高齢者」対象調査において、認知症に関する相談窓口を知っているかの問いに対し「はい」と回答した割合	23.7%	28.8%

### 基本目標5 安定的な介護保険制度の運営 【ステーブルライフ(Stable Life)】の成果目標

指標項目	現状値	目標値
	2022年度	2025年度
<b>介護保険サービスに満足している人の割合</b> 高齢者等実態調査「居宅要支援・要介護認定者」対象調査において、介護保険サービスに「満足」または「どちらかと言えば満足」と回答した割合	69.9%	72.2%